

第1回検討委員会の視点

資料 2

情報提供のあり方

- ・ 図書に限らない情報を扱うべき
- ・ 専門的な情報の発信を強化していくべき
- ・ すべての人を対象にした平等な情報提供
- ・ 情報格差を解消していくために何ができるか
- ・ 図書館側から区民に向かっていく、発信していくことが重要
- ・ 情報がどのように活用できるのか思い浮かべられるようにするのも図書館の役割

地域に根差した図書館

- ・ 地域特性やニーズを踏まえることで特色ある館が作られていくのではないだろうか
- ・ 協働・情報・人が合わさることで地域力を高め、図書館がまちづくりの核となることができる

交流拠点

- ・ 自由に会話を楽しめ、ティーン世代が集うような場所に
- ・ 利用者同士が交流し、生活に息づくような図書館
- ・ 親子が過ごしやすく、滞在したくなるような空間づくり

連携

- ・ 区民ニーズに応える上で他部局との連携も重要である
- ・ NPO団体や近隣施設との連携を通して、提供サービスや図書以外の資料の充実等を図れるのでは
- ・ 館ごと連携により、良いサービスは共有するべきだ
- ・ エコミュージアムのように区民と協働でまちじゅうを図書館にすることも考えられる